

ペットに関するアンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

県では、平成26年に動物の愛護と適正飼養の推進を目的とした「岐阜県動物愛護管理推進計画」を改訂し、各保健所及び岐阜県動物愛護センターで取組みを実施しています。県民の動物愛護に対する意識の動向や、動物による生活環境への影響等を把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象：県政モニター516人(うちインターネットモニター251人)

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成29年11月1日～11月17日

回収結果：420人(回収率81.4%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

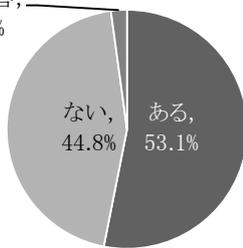
3 結果概要

○ 他人のペットを迷惑と感じたことはありますか。

ある → 53.1%

ない → 44.8%

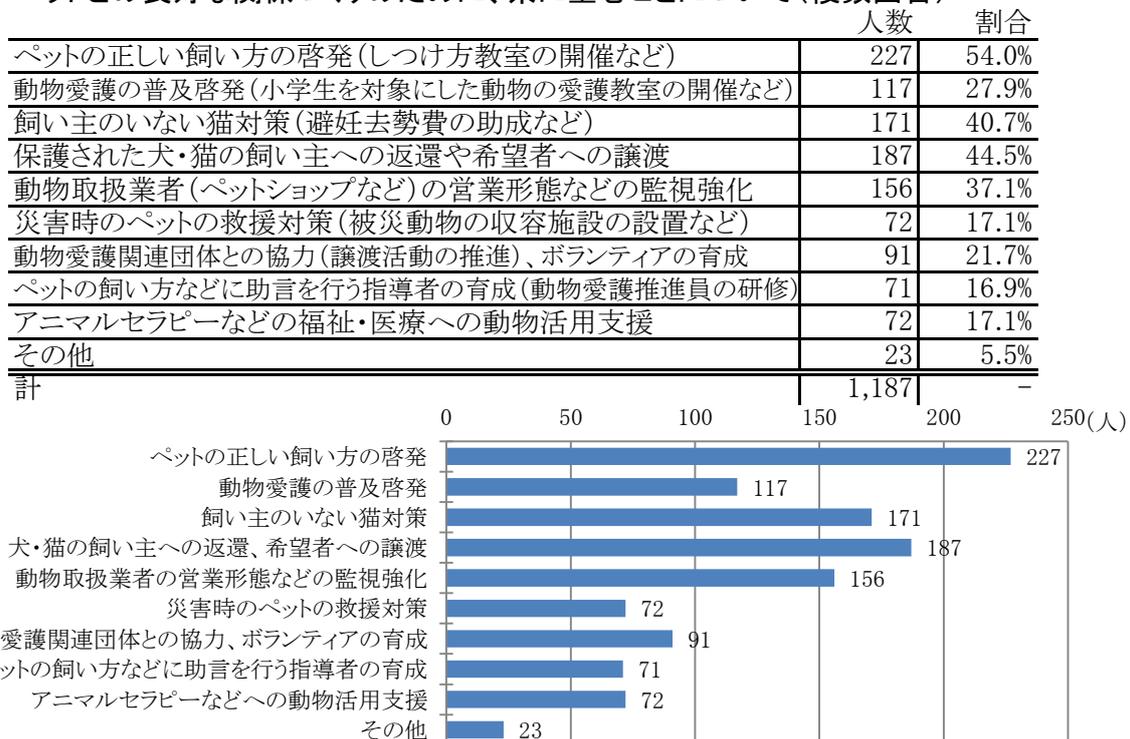
無回答,
2.1%



「ある」の主な具体的な内容

- ・糞尿による被害
- ・早朝、夜間の鳴声
- ・放し飼い、リードなしでの散歩
- ・他人の敷地内への侵入

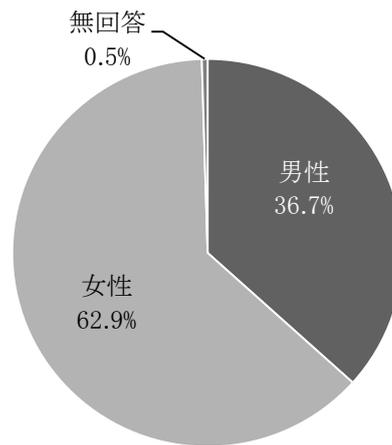
○ ペットとの良好な関係づくりのために、県に望むことについて(複数回答)



4 回答者属性

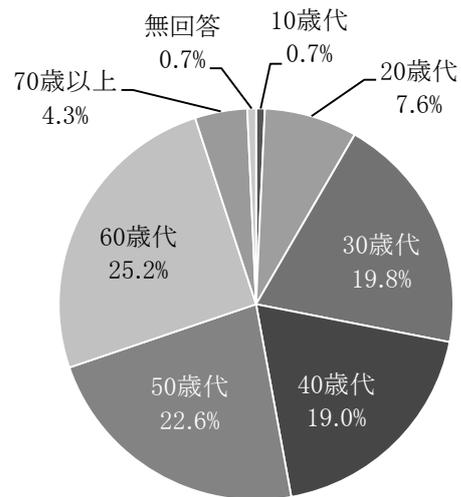
(1) 性別

	人数	割合
男性	154	36.7%
女性	264	62.9%
無回答	2	0.5%
計	420	100.0%



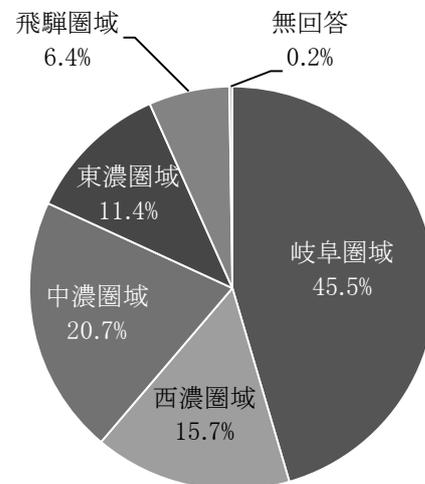
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.7%
20歳代	32	7.6%
30歳代	83	19.8%
40歳代	80	19.0%
50歳代	95	22.6%
60歳代	106	25.2%
70歳以上	18	4.3%
無回答	3	0.7%
計	420	100.0%



(3) 居住圏域別

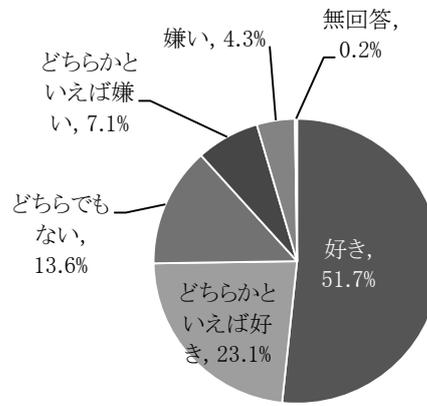
	人数	割合
岐阜圏域	191	45.5%
西濃圏域	66	15.7%
中濃圏域	87	20.7%
東濃圏域	48	11.4%
飛騨圏域	27	6.4%
無回答	1	0.2%
計	420	100.0%



5 調査結果

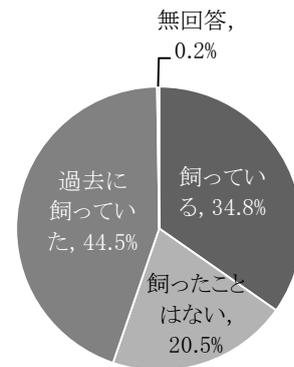
問1 動物(ペット)は好きですか。

	人数	割合
好き	217	51.7%
どちらかといえば好き	97	23.1%
どちらでもない	57	13.6%
どちらかといえば嫌い	30	7.1%
嫌い	18	4.3%
無回答	1	0.2%
計	420	100.0%



問2 ペットを飼っていますか。

	人数	割合
飼っている	146	34.8%
飼ったことはない	86	20.5%
過去に飼っていた	187	44.5%
無回答	1	0.2%
計	420	100.0%



問3 (問2で1と答えた方)

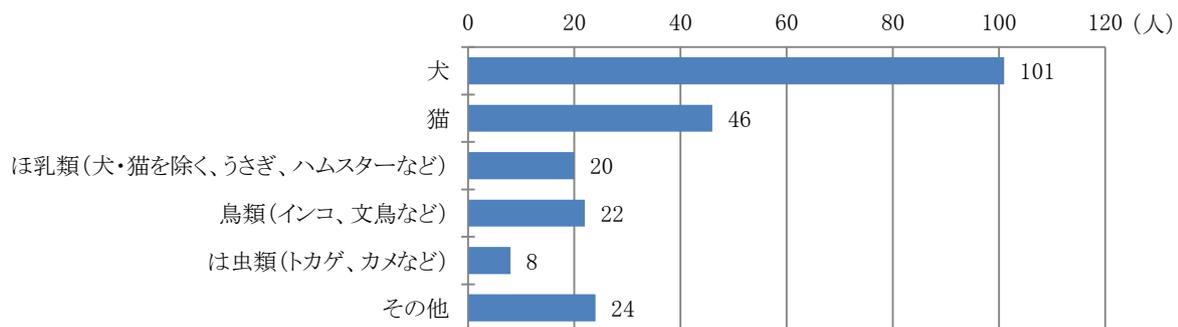
あなたは、どんな動物(ペット)を飼っていますか。

あてはまるものをすべてあげてください。(複数回答/回答者146人)

	人数	割合
犬	101	69.2%
猫	46	31.5%
ほ乳類(犬・猫を除く、うさぎ、ハムスターなど)	20	13.7%
鳥類(インコ、文鳥など)	22	15.1%
は虫類(トカゲ、カメなど)	8	5.5%
その他	24	16.4%
計	221	-

その他のうち主なもの

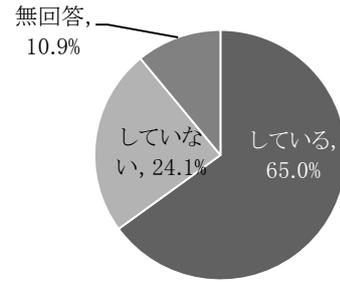
・魚類(メダカ、金魚等)



問4 (問3で1・2と答えた方)

犬・猫を飼っている方におたずねします。不妊・去勢手術をしていますか。

	人数	割合
している	89	65.0%
していない	33	24.1%
無回答	15	10.9%
計	137	100.0%

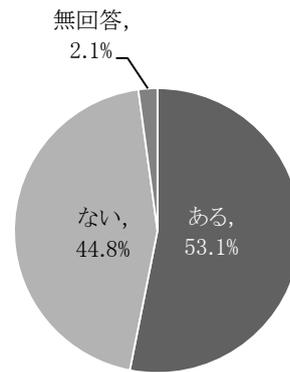


していない理由として主なもの

- ・管理できる(室内外で他の犬猫と接触しない等)から、不要である
- ・犬猫がかawaiiそう

問5 他人のペットを迷惑と感じたことはありますか。

	人数	割合
ある	223	53.1%
ない	188	44.8%
無回答	9	2.1%
計	420	100.0%

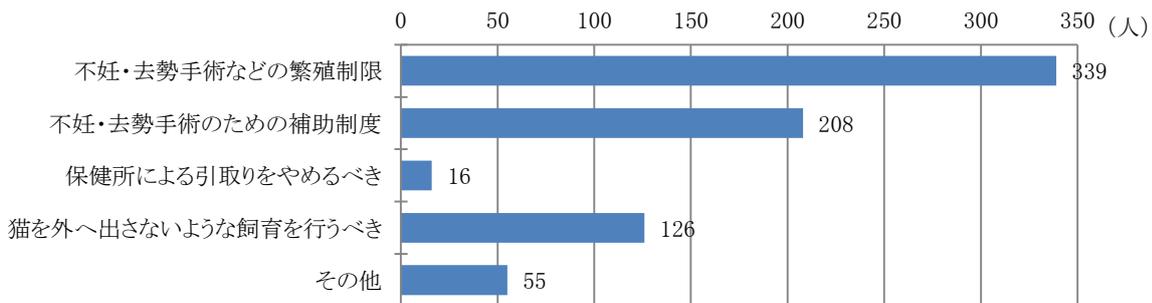


「ある」の主な具体的な内容

- ・糞尿による被害
- ・早朝、夜間の鳴声
- ・放し飼い、リードなしでの散歩
- ・他人の敷地内への侵入

問6 殺処分される子猫は、どうすれば少なくなると思いますか。次の中からあてはまるものをすべてあげてください。(複数回答/回答者420人)

	人数	割合
飼い主が自己責任で不妊・去勢手術などの繁殖制限を行うべき	339	80.7%
飼い主が不妊・去勢手術を受けやすいよう補助制度を創設すべき	208	49.5%
保健所による引取りをやめるべき	16	3.8%
猫を外へ出さないような飼育を行うべき	126	30.0%
その他	55	13.1%
計	744	-

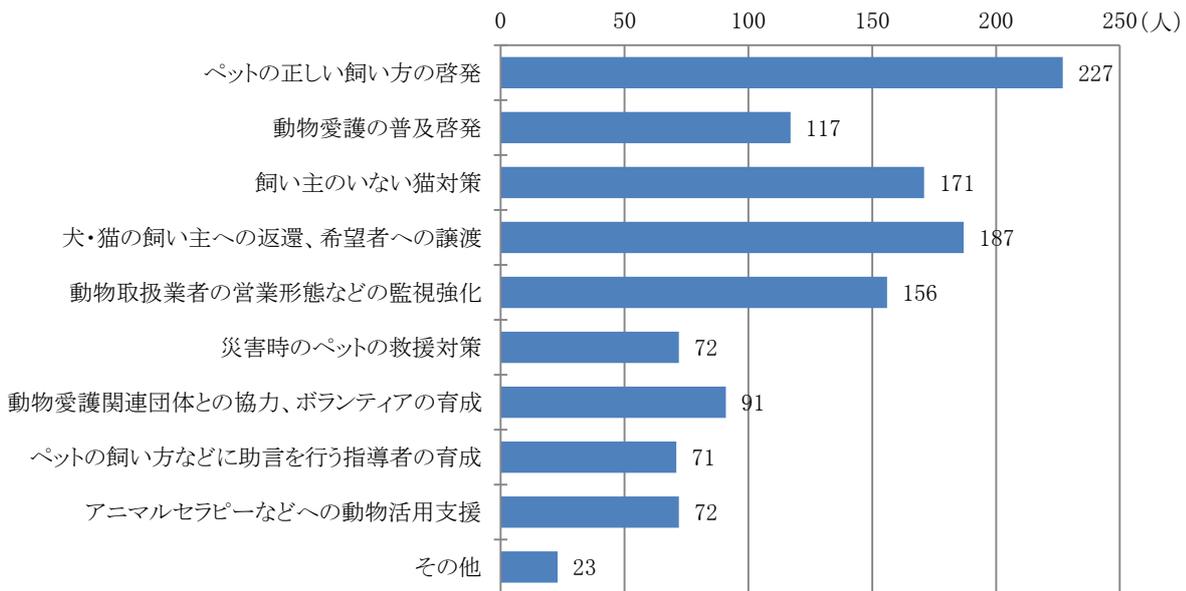


「その他」のうち主なもの

- ・保健所から新しい飼い主への譲渡活動の強化(広報、イベント)
- ・動物取扱業者への指導(規制)強化
- ・飼い主に対する適正飼養の指導強化
- ・飼養許可制度(登録制度)の導入

問7 ペットとの良好な関係づくりのために、県に望むことについて、次の中から主なものを3つあげてください。(複数回答／回答者420人)

	人数	割合
ペットの正しい飼い方の啓発(しつけ方教室の開催など)	227	54.0%
動物愛護の普及啓発(小学生を対象にした動物の愛護教室の開催など)	117	27.9%
飼い主のいない猫対策(避妊去勢費の助成など)	171	40.7%
保護された犬・猫の飼い主への返還や希望者への譲渡	187	44.5%
動物取扱業者(ペットショップなど)の営業形態などの監視強化	156	37.1%
災害時のペットの救援対策(被災動物の収容施設の設置など)	72	17.1%
動物愛護関連団体との協力(譲渡活動の推進)、ボランティアの育成	91	21.7%
ペットの飼い方などに助言を行う指導者の育成(動物愛護推進員の研修)	71	16.9%
アニマルセラピーなどの福祉・医療への動物活用支援	72	17.1%
その他	23	5.5%
計	1,187	-



「その他」のうち主なもの

- ・飼い主に対する適正飼養の指導強化
- ・動物取扱業者への指導(規制)強化
- ・飼養許可制度(登録制度)の導入